

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

複数施設研究用

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

以下、本文-----

脳磁図てんかん検査の人工知能を用いた自動化の多施設共同研究

1. 研究の対象

2000年3月～2025年3月に広島大学病院で脳磁図てんかん検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

脳磁図てんかん検査の解析には知識、経験に加えて多大な時間を要します。そこで人工知能を用いた検査の省力化の技術を開発、臨床応用することを最終目的として、本研究では、大阪大学、株式会社リコー等との多施設共同研究により、当院を含む研究参加施設における過去の検査結果を用いて至適方法を探索します。

研究期間：研究の許可日 ～ 西暦 2025 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

現行の当院脳磁計が2000年に設置されて以降に行われたてんかん臨床検査のデータを用います。参考情報として、診療カルテに記載・登録されている病名、診療録、検査結果等を用いる可能性がありますが、個人が特定できるような情報は使いません。

4. 外部への試料・情報の提供

当院で行った検査のデータを大阪大学に提供してデータ解析を行います。データを大阪大学に提供する際には、個人が特定できるような情報（個人情報）を削除して提供します。提供するデータはこの研究に参加している研究者以外は利用しません。個人との対応表を作成して、対応表は当院の研究責任者が保管・管理します。データの提供は記録媒体を用いて郵送もしくは直接手渡しにて行います。データ解析にはリコーが開発した人工知能を用いた自動解析ソフトを用います。また当院においてもデータ解析を行います。

5. 利益相反について

本研究は大阪大学とリコーと各分担研究機関の共同研究「脳磁計の計測・解析手法の研究開発」の共同研究費により行われます。株式会社リコーは開発したソフトウェアを無償で大阪大学ならびに分担研究機関に提供します。

研究を行うときにその研究を行う組織あるいは個人（以下「研究者」という。）が特定の企業から研究費・資金などの提供を受けていると、その企業に有利となるように研究者が研究結果を改ざんあるいは解釈したり、また都合の悪い研究結果を無視するのではないかと疑われやすい状態になっていると言えます。（こうした状態を「利益相反」といいます。）

そのような疑念を持たれないよう、またそのような不正行為が実際に行われないようにするため、この研究における利益相反は、大阪大学大学院医学系研究科・医学部臨床研究利益相反審査委員会ならびに各分担機関の利益相反委員会による審査を受け、承認を得ています。我々はその審査結果に基づき、利益相反を厳正に管理して研究を行います。

6. 研究組織

本研究に参加する研究機関と研究責任者は以下の通りです。

代表研究機関

大阪大学 平田雅之

分担研究機関

静岡てんかん・神経医療センター 芳村 勝城

大阪市立大学 宇田 武弘

北斗病院 嶋原 良仁

熊谷総合病院 嶋原 良仁

広島大学病院 飯田 幸治

京都大学 池田 昭夫

株式会社 リコー 長谷川 史裕

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

研究責任者：

広島大学病院てんかんセンター 飯田 幸治

Tel 082-257-1719, fax 082-257-1906

研究代表者：

大阪大学大学院医学系研究科脳機能診断再建学共同研究講座、
同医学部脳神経外科（兼任）

平田 雅之

-----以上